

芦原小学校 「たくましく ゆたかな子をめざして」

ふるさと ふるさと教育では、毎年5年生が自然観察会を行っています。「あわらの自然を愛する会」にご協力いただき、北潟湖周辺に出掛け、芦原小学校の校名の由来にもなっている「蘆^{あし}」をはじめ多様な植生や外来種について学んでいます。また、3、4年生は、地元の人を招いてバター作り体験をしています。そのほか「二面長者」などあわら市に伝わる民話を聞いて学習しています。

GIGA タブレット端末を使い、全ての児童一人一人が自分のペースで調べ学習やドリル学習をしています。また、自分の画面を大型モニターに表示して、発表や話し合い活動にも活用しています。授業での効果的な活用法についての教員研修も計画的に行っています。



金津小学校 「一人一人が輝く学校をめざして」

ふるさと ふるさと教育では「地元の人からあわらを学ぶ」をテーマに体験活動に力を入れています。6月に行われた「吉崎ウォーク」では、実際に蓮如道（旧北陸道）を学校から吉崎御坊跡まで歩き、千束一里塚や切り通しで郷土歴史資料館の学芸員から説明を受け、学習しました。

GIGA タブレット端末を使った授業では、一人一人の考えを大型モニターに表示して、思いや考えを共有しています。また、体育の授業では、運動の場面を撮影し、その動画を見ながら動きを改善することに使っています。

コロナ禍で、学校開放が難しい状況が続いていますが、子どもたちの様子や行事の写真、感想をホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。



北潟小学校 「豊かな自然を生かし、学びを深める」

ふるさと ふるさと教育では、豊かな環境を生かして、安全に配慮してさまざまな体験活動に取り組み、地元の良さや課題について学んでいます。例えば、とみつ金時の栽培、北潟湖でのカヌー体験や清掃活動、波松での希少植物の観察や塩づくり、梨の収穫です。

GIGA タブレット端末などの情報機器が整備され、児童の調べ学習が個に対応して行えるようになりました。また、修学旅行を終えた6年生が、写真データをもとにタブレット端末で「修学旅行のまとめ」を作り発表し合うなど、学習のまとめや発表にも大いに活用しています。

コロナ禍でも、子どもたちの学ぶ意欲を高めていこうと思います。



細呂木小学校 「自分の思いや考えを伝え合い、認め合う」

ふるさと ふるさと教育では、細呂木地区創成会にご協力をいただき、門松づくりや駅前カフェでの児童作品展などに取り組んでいます。さつまいも苗植えや田植え、柿の収穫、細呂木音頭などを地域の人たちから学んでいます。希少生物の観察会や北潟国有林の保全活動を通して、ふるさとの自然保護について考える機会としています。

GIGA 授業ではタブレット端末を活用して、各教科での調べ学習やkeynote、pages、ワードを使った発表資料づくり、Google フォームによるアンケートや振り返りなどに取り組んでいます。算数の授業ではQRコードを読み取り、個別学習をしています。体育の授業では、自分のフォームを確認し、朝マラソンのランニング記録をデータ管理しています。

本荘小学校 「先人に学び、未来を生きる」

ふるさと 歴史と伝統が息づく本校では、ふるさと学習を学校教育の大きな柱の一つとして取り組んでいます。特に「藤野巖九郎生誕の地」として、先生の功績や生き方を学びながら、ふるさとに誇りと愛着をもつ子どもの育成を目指しています。

GIGA タブレット端末を使い、自分の考えを友だちと共有し、発表しています。体育の授業では、継続的に自己記録を入力し、グラフ化することで、自分の伸びの特徴を確かめながら次に生かしていくような実践も行っています。

このように「主体的・対話的で深い学び」の視点をもって授業改善を図ることで、新しい時代に求められる資質能力の育成に努めています。



伊井小学校 「思いやりをもち、主体的に取り組む子に」

ふるさと ふるさと教育では「伊井っ子ESD」を推進しています。ESD（持続可能な開発のための教育）を「えいえんのしあわせのためにできること」ととらえ、身の回りの出来事を知り、一人一人が「みんなのために、自分ができること」を主体的に実行できるよう努めています。今年度は「おにぎりアクション」「クリーンアップ作戦」「ふるさとCMづくり」などに取り組んでいます。

GIGA 子どもたちは、タブレット端末を文房具の一つとして活用しています。発表ノートの共有やネット検索のほか、理科や生活科の観察日記、運動の動画撮影など、いろいろな可能性を模索しています。



金津東小学校 「進んで学び、未来を拓く子をめざして」

ふるさと ふるさと教育では、地域の皆様のご協力のもと、校区の豊かな自然や歴史遺産を生かした体験活動に取り組んでいます。「刈安山林道での桜の苗木記念植樹」や「地域再発見ウォーク」「木づかい塾（県産材の加工体験）」「そばづくり」などの活動を通して、ふるさとの良さを学んでいます。

GIGA 情報活用能力の育成を目指し、情報モラル教育と合わせて、タブレット端末の活用を進めています。観察記録の作成や友達との共有、調べ学習やプレゼン力の育成など、学年や一人一人に応じて取り組んでいます。これからも東っ子の笑顔が輝く学校を目指し、学びを進めていきます。



ふるさと

「あわらのたから」を絵画に

10月16日（土）、あわらの魅力を描いて、ふるさと愛を育んでもらうため「あわらのたから」絵画展を開催しました。この企画は、市教育研究会図工部会と県造形教育研究大会実行委員会が企画したものです。市内全ての小学校の児童が対象で、自分たちが住んでいる地域の「たから」だと思ふものを見つけて絵画にします。児童たちもあわらにある素晴らしい魅力を再発見できたのではないのでしょうか。

10月16日（土）
～10月24日（日）

◀ 市長賞をはじめ、315点もの受賞作品が金津創作の森美術館に展示



▶ 市長が賞状を手渡し、児童たちの栄誉をたたえる

